
ISL Online クラウドライセンスの 安全性と安定性について



ISL Online クラウドライセンスの安全性と安定性について

1. 通信データ

-ISL OnlineのセッションはオペレーターPCとクライアントPCのデスクトップ共有やファイル転送を実現しています。デスクトップ共有はイメージの転送によって実現するもので、中継サーバーにファイルは蓄積されません。また、ファイル転送機能を使用する際も、送信先PCに保存先が指定される方式をとりますので、PC間でやり取りされたいかなるファイルもサーバーに蓄積されることはありません。

※Web会議機能では、サーバー上にファイルをアップロードし、ファイル共有を行う機能がございます。アップロードしたファイルは権限を持つユーザーが削除可能です。

2. 通信データの暗号化

-ISL Online製品では、ファイル転送時を含めた全セッションを通じSSL 256bit-AESの暗号化を行っております。またISL Onlineクラウドライセンスのプログラムに関しては、ベリサイン認証によりデジタル署名がされております。

3. 操作上の許可確認

-ISL Onlineのセッションは「両者合意のもとで」リモートセッションを行うことを基本としています。そのため、デスクトップ共有を開始する前に、オペレーターがクライアントPCの画面表示および操作の許可を求める「許可確認画面」を表示します。こうして、クライアントの許可を得た後にデスクトップ共有が開始される環境を実現しております。

ISL Online クラウドライセンスの安全性と安定性について

4. デスクトップ共有時の操作権限

- デスクトップ共有をオペレーターに許可した後も、マウスを動かすだけで、クライアントはいつでもオペレーターの操作を一時的に停止することができます。また、操作を停止し画面表示のみとしたり、テキストチャットモードのみ許可することも可能です。こうした機能で、クライアントが安心してご利用頂ける設計となっております。

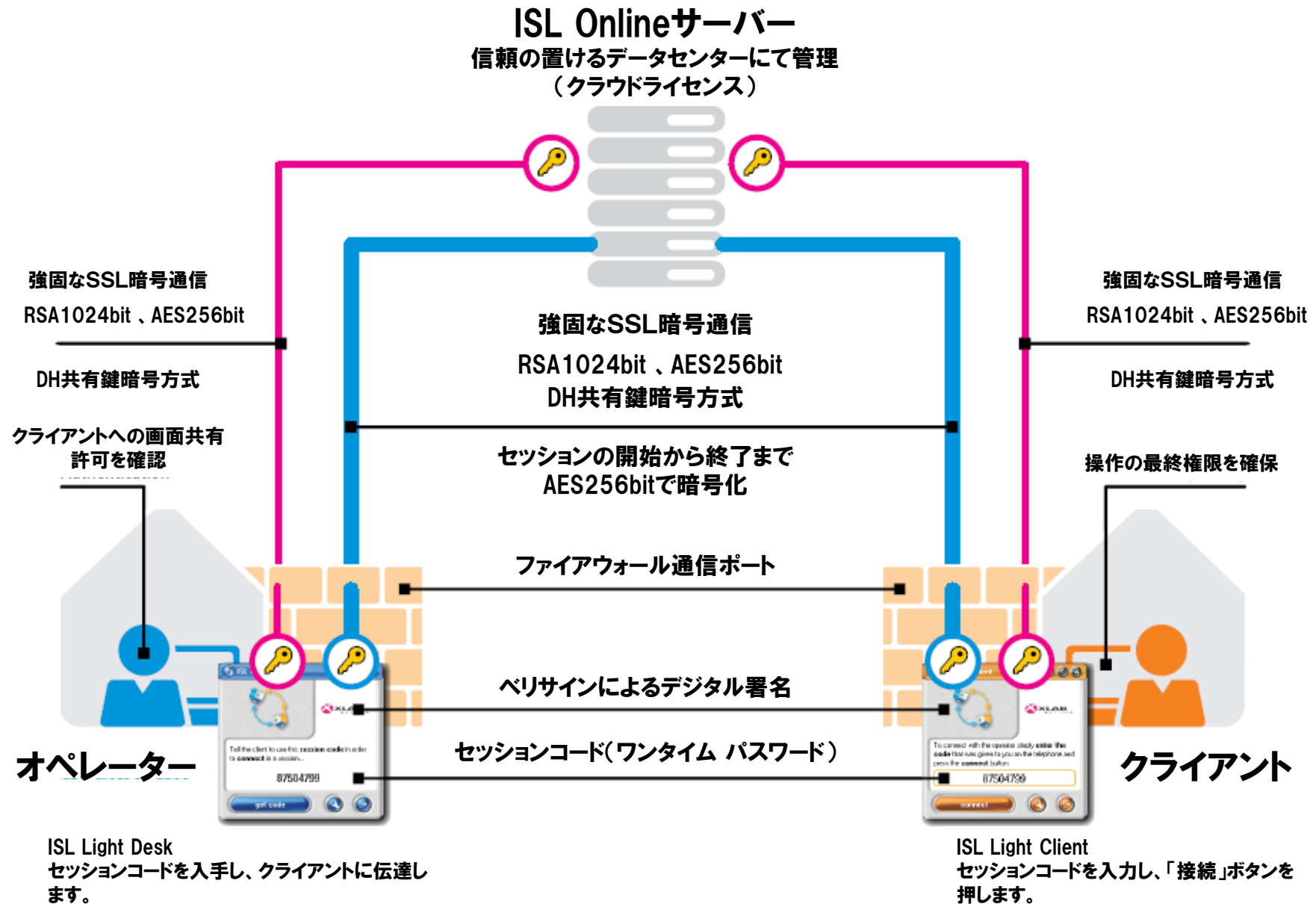
5. 信頼のおける管理会社での運用

- 日本に置かれたISL Online製品の接続を可能にするグリッドサーバーは、信頼のおけるサーバー管理会社の管理下で運用されております。不正アクセスの対策につきましては、SSH等でグリッドサーバーに接続を行う場合のアクセス元を制限しております。その為、登録されたアクセス元以外からは、グリッドサーバーに接続が出来ないように設定されております。また、ログの取得を行うと同時に、脆弱性が存在する場合にはパッチの適用を行うなど、情報漏えいを防止する為に最善の対策を実施しております。

6. グリッド技術を採用したサーバーの耐障害性

- ISL Onlineのクラウドサービスは世界中に点在したグリッドサーバーにより支えられています。これらグリッドサーバーは最先端グリッド技術により連結されており、接続サーバーの偶発的トラブルにも他のサーバーがセッションを維持する機能を備えております。こうして、安定したサービスを提供しております。

セキュリティ基本概図



SSLについて

- SSLとは :

SSL(Secure Sockets Layer)とは、ネットワークを介したコンピューター同士の通信を安全にやり取りするための技術で、OSI参照モデルにおけるセッション層ならびにトランスポート層において機能するプロトコル。遠隔地のコンピューター同士がネットワークを介して情報をやり取りする際の、認証や暗号化による安全な通信実現のためのプロトコルや技術の総称。

- SSLによって防ぐことのできるリスク : 「盗聴」「成りすまし」「改ざん」「否認」など

- ISL Onlineで使用するSSL通信について :

AES-256bit ⇒ データ通信の暗号化、256bit暗号データを解読することは現在の技術では現実的に不可能です。

RSA-1024bit ⇒ セッション開始時に行うデータ交換方式で、1024bit暗号データを解読することは現在の技術では現実的に不可能です。

安心してISL Online クラウドライセンスをご利用頂けます。



ISL Onlineに関するお問い合わせは・・・

株式会社オーシャンブリッジ

ISL Online担当

Email: isl@oceanbridge.jp

Tel: 03-5464-2112

URL: www.oceanbridge.jp

まずは15日間お試しください!
無料体験のお申し込みはこちら



ISL Onlineホームページ

www.islonline.jp

